

施設設置2年目となり、3つのコミュニティ施設が地域に浸透した。  
TMO・商店主・住民等の意識向上による積極展開で来館者が増加した！

## 大和高田商工会議所（にぎわい大和高田）

機関名	大和高田商工会議所（にぎわい大和高田）		
所在地	奈良県大和高田市大中106-2		
電話番号	0745-22-2201		
地域概要	(1)管内人口 74千人	(2)管内商店街数 13商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数 3商店街	(2)会員数 85商店	
	(3)空店舗率 約20%	(4)大型店空き店舗数 0店舗	
	天神橋筋商店街振興組合、片塩本通り商店街、片塩駅前商店街振興組合		
商店街の類型	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街		

### 【事業名と実施年度】

平成16年度 コミュニティ施設活用事業（高齢者等交流事業）  
 ・複数のコミュニティ施設の拠点を開設・運営  
 総事業費 6,560千円

### 【事業実施内容】

#### 1. 背景

大和高田市は、奈良県の北西、大和盆地の南西に位置し、全市域ほぼ平坦な地形となっている。二上・葛城連峰の豊かな自然と歴史に育まれた古くから難波、大和、伊勢を結ぶ交通の要衝として栄え、奈良県の中南和地方の経済、文化、行政の中心都市として発展を続けた。特に、大阪との文化、経済的なかかわりが深いことが、大和高田市が発展した大きな要因のひとつとなっている。しかし、近年大和高田市の中心市街地において、モータリゼーションの進展による商業施設の郊外化など環境変化による空き店舗の増加が顕著になっている。



大和高田市位置図（大和高田市HPより）

このような環境変化の影響で商店街機能が衰退し、商店街の賑わいを取り戻すことが急務となっていた。

そこで、平成15年10月、片塩本通り商店街に「片塩カルチャーセンター」、片塩駅前商店街に「市民活動プラザ（おかげ茶屋）」、天神橋筋商店街に「エコプラザ」と『市民が活

動・参加するコミュニティ活動スペース』を複数設置した。本事業では、これら施設を活用し市民の活動への参加と今後の連携を図り、中心市街地の活性化、そして商店街の賑わいを取り戻すことを目的としている。平成16年度に関しても15年度に引き続き当施設を運営することとなった。

## 2. 事業内容

平成15年度にスタートした3つのコミュニティ活動拠点の利活用を充実させると共に、市民団体等の活動を支援し、関係を密にして機能強化を図った。

また、拠点の所在及び活動を広くPRし、利用の促進を図ってより地域に根ざした活動拠点の定着化を目指した。

### < 3 拠点の概要 >

名称	テーマ	場所	面積	利用時間	料金
天神橋 エコプラザ	・リサイクルや環境問題を通して人々が交流する場 ・文化教室等市民の活動の場	天神橋筋商店街内	13 坪 (約 43 m <sup>2</sup> )	午前 10 時～午後 6 時 (月曜定休、年末年始)	無料
片塩 カルチャー センター	学習、発表、展示、集会等の様々な活動の場	片塩本通り商店街内	43 坪 (約 140 m <sup>2</sup> )	午前 9 時～午後 10 時(無休、年末年始除く)	H16 年度より有料
おかげ茶屋 (片塩市民活動サロン)	・街の一服ステーション ・気軽に参加できる教室 ・ギャラリーとして作品発表の場	片塩駅前商店街内	15 坪 (約 50 m <sup>2</sup> )	午前 11 時～午後 5 時 (木曜定休、年末年始)	無料



3 拠点の位置図

(1) 天神橋エコプラザ

①リサイクルや環境問題を通して人々が交流する場

- ・昨年度に引き続きリサイクルショップの運営
- ・「リサイクルを考える」展示

開催日：11月19日～30日

内 容：不用衣類やハレギを生き返らせるお母さんの手作り袋物展示紹介

②文化教室等を展開 市民活動の場

- ・「市民の健康チェック」を毎月開催
- ・定期的に文化教室を開催  
(手編み、生花、手描き友禅、押し花、フラワーアレンジメント 他)
- ・成年後見制度等相談会
- ・子育て支援センター「子育て広場」
- ・高田商業高等学校写真展開催
- ・高齢者も参加できる体操教室開催



天神橋エコプラザ (上)  
子育て支援センター (下)  
(大和高田商工会議所HPより)

(2) 片塩カルチャーセンター

①学習、発表、展示、集会等のさまざまな活動の場

- ・月予定表の掲示
- ・開催講座案内チラシ
- ・自主企画イベントの開催

1) セタイベント

開催日：7月5日～7日

内 容：セタ短冊作り、コンサート、まちの保健室

2) 夏休み講座開催

開催日：8月24日 ちぎり絵教室

8月29日 親子で参加はり絵教室

3) オリンピックポスター展

開催日：9月3日～10月11日

4) 高田のまち写真展

開催日：10月28日～11月14日

5) 冬のおかげ市クリスマスコンサート

開催日：12月11日～12日

6) つばみ保育園児童作品展

テーマ：「おかげまつりのおもいで」

開催日：12月11日～28日

7) 片塩寄席開催

開催日：2月6日



片塩カルチャーセンター  
クリスマスコンサートの様子  
(大和高田商工会議所HPより)

<片塩カルチャーセンター使用料>

時 間	平日料金	土日祝料金
9：00 ～13：00	500円／1H (2時間以上)	4,000円 (4時間)
13：00 ～18：00	1,000円／1H (2時間以上)	5,000円 (5時間)
18：00 ～22：00	1,000円／1H (2時間以上)	4,000円 (4時間)

- 8) 春のおかげ市同時開催「なつかしの鉄道展」  
 (3) おかげ茶屋 (片塩市民活動サロン)

開催日：3月20日

① まちの一品ステーション

- ・誰でもくつろげる一服処 お茶 (夏は冷茶) 無料サービス、トイレの提供
- ・快適な空間にするためにエアコンとドアの設置
- ・おかげ茶屋の逸品「コーヒーぜんざい」等の販売
- ・委員尽力による協力者の呼びかけ
- ・共同作業所の方たちの手作り品販売, バザー併設

② 気軽に参加できる手芸教室

- ・委員尽力によるボランティア講師の協力呼びかけ
- ・定期的手芸教室開催

③ 趣味の作品発表ギャラリー

- ・「創る」から「展示」、「販売」まで行う
- ・古布リサイクル 手作り袋物の販売



おかげ茶屋 (上)

ギャラリーの様子 (下)

(大和高田商工会議所HPより)

(4) 「元気高田フェア」の開催

3つのコミュニティ活動拠点をPRするとともに3拠点のネットワーク化と役割分担をアピールするため、イベントとして「高田おかげ祭り」の開催に合わせてコミュニティ1周年イベントとして「高田元気フェア」を開催した。

①開催日：平成16年10月10日(日) ～ 10月11日(月)

②主 催：にぎわい大和高田 (大和高田商工会議所)、各商店街

③場 所：天神橋エコプラザ、片塩カルチャーセンター、おかげ茶屋、本郷通り、竜王宮周辺、さざんかホール周辺

(5) 3拠点の利用状況

<平成16年度の3拠点の利用状況(平成15年度比)>

	平成15年度 (H15年10月～H16年3月)	平成16年度 (H16年4月～H17年3月)
天神橋エコプラザ	約1,500名	2,871名
片塩カルチャーセンター	約600名	4,072名
おかげ茶屋	約2,400名	8,297名
利用者数合計	約4,500名	15,240名

**【 効 果 】****1. 利用状況**

現状でも3拠点の所在及び活動内容のPR不足は否めないが、徐々にではあるが周知されつつあり、地域に浸透しつつある。その結果、問合せの件数も増え、初年度と比べて着実に使用者・利用者が増加してきている。

**2. 自主的活動の増加**

当初は利用のほとんどが貸しスペースの利用であり、TMOや商店街は、3つの拠点に対して受身の姿勢であった。しかし、開設後1年半が経ち、商店街等の企画による講座やイベントが開設され、住民等団体における活動が少しみられるようになった。

**3. 商店主の意識の変化**

当初は3拠点での運営については、TMOが音頭をとって進め、商店街がそれに協力するスタイルで行われていた。今でもその傾向は強いが、回を重ねるごとに商店街及び商店主の意識の変化がでており、3つの拠点の運営に対しての自覚が芽生え始めている。

**4. 商店街の認知度**

本事業に加えて、まつり、マップ、PR活動等により、マスコミ等を通じて大和高田の街中の情報発信が行われ、地域に話題を提供しつつある。このことにより、大和高田の街中の認知度が高まり注目度が増してきた。その結果、大和高田に足を向ける人が少しずつ増加している。

**【 課 題 ・ 反 省 点 】****1. PR**

利用度は着実に高まったが、まだまだ拠点の所在も含めて知らない人は多い。各種の媒体を活用した強化を引き続き行う必要がある。

**2. 人的体制**

現状では、市民・活動団体は、拠点スペースの利用者としての関与が多い。今後は3拠点の企画・運営等についての協働者として連携を深めなければならない。

**3. 事業実施のノウハウ**

3拠点の運営方針と活動内容は拡大されているが、重複部分も多い。それぞれの拠点の目標テーマをより鮮明にする必要がある。

**【 事 業 の 実 施 ポ イ ン ト 】**

コミュニティ施設事業は、単年度ではなく継続することを前提に行わなければならない。事業を継続するという観点で、市民団体等との協働や拠点のPRなどを行っていかなければならない。

**【 関 連 U R L 】**

大和高田商工会議所HP <http://www.yamatotakada-cci.or.jp/>